

儚く小さなあかりがゆらめく幻想的な光景 ホタルを見に行きませんか？



野出島地域活性化プロジェクト会長
ほんくう ただし
本宮 直さん

旧東村の野出島地区のゴルフ場、白河国際カントリークラブ地内では、毎年6月20日頃からゲンジボタルが飛び始めます。コロナ禍で中止を余儀なくされていた「野出島の里ほたるまつり」も今年は復活。ゴルフ場内というところもあり、通常は立ち入れない場所でも鑑賞できる貴重なチャンスです。生息地をめぐるナイトハイキングは午後8時出発予定。ホタル鑑賞前には音楽ライブや打ち上げ花火も予定しているそうなので、初夏の夜のひとときを、ぐっと盛り上げてくれそうです。

イベントを主催する野出島地域活性化プロジェクトは、会長の本宮直さんが中心となり、地域の資源を生かし交流人口を促進するため様々なプロジェクトに取り組んできました。遊休農地を活用し菜の花や蕎麦、小麦を栽培。菜の花まつり、新そばまつりを開催するなど地域の賑わい創出に繋げるほか、菜種油や野出島蕎麦、野出島うどんなどに加工し6次化を実現しています。名工として名高い石工の小松寅吉や小林和平の狛犬がある地域としても情報を発信し、移住定住に向けた暮らし体験住宅の運営・管理にも携わりま

白河市東野出島地区 ホタルを通じて地域活性化

す。この地域に古より生息しているホタルも大切な地域資源のひとつ。野出島地域の自然、文化、それを守り伝える人の素晴らしさに会いに出かけてみませんか？

用水路や田んぼなどで淡い光を放ちながら舞うホタルの姿。以前は各地で見られましたが、環境の変化などからその姿を見ることが出来る場所は少なくなってきています。



白河市の旗宿地区でホタルの生態系を守り育てる活動が続いているほたるの里保存会の大竹さんと、野出島地区で地域資源を生かす取り組みをおこなう野出島地域活性化プロジェクトの本宮さんに、取り組みや鑑賞時期などを伺いました。

白河市旗宿地区

ホタルを守り育てる

関の森公園周辺には、ゲンジボタルとヘイケボタルが生息しています。発生時期に毎年現地ガイドをおこなうのはほたるの里保存会の大竹修司さん。生息地の草刈りや水路の整備など、年間を通してホタルの保全活動に取り組んでいます。大竹さんは以前、公園近くにあつた天文台の星守で、15年ほど前に宇宙少年団の活動の一環として、周辺環境の生き物観察に取り組んだことがホタルのすむ環境整備へのキッカケとなりました。整備には助成金を活用し、以前にはほたるまつり



写真：白河市旗宿地区

ホタルを見に行きませんか？

儚く小さなあかりがゆらめく幻想的な光景

を開催したこともあります。発生時期には毎日現地に足を運び、見に来る人が安全に観察できるように案内しています。

美しさを記録する

ゲンジボタルとヘイケボタルは発生時期が異なるため、6月中旬から7月下旬まで、比較的長期に観察できるのが旗宿地区の特徴。体が大きく放つ光も大きいゲンジボタルの飛ぶ姿は特に感動が大きいそうです。大竹さんは星の観察や撮影にも詳しいので、星景写真やホタルの撮影についても教えてください。気になる方はぜひ大竹さんに撮影のノウハウを聞いてみてください。



発生時期
ゲンジボタル 例年6月中旬～下旬 夜8時～9時頃
ヘイケボタル 例年7月上旬～下旬 夜7時半～9時頃
※今年はゲンジボタル、ヘイケボタルともに10日ほど早まる見込み
[問] ほたるの里保存会事務局 TEL.090-2799-8842(大竹)

ホタル鑑賞の注意点

ホタルの生息地を脅かさないために、また近隣に住む方々への迷惑にならないためにも、次の点に注意して鑑賞しましょう。

- ・ホタルは明かりを嫌います。懐中電灯をホタル発生場所に向けないでください。カメラのフラッシュ撮影も厳禁です。
- ・鑑賞スポットが水田や畑付近にある場合は、田畑を踏み荒らさないように気をつけましょう。
- ・ホタルは採らないでください。とても儚い命です。鑑賞のみにしましょう。
- ・私有地への立ち入りはやめましょう。
- ・路上駐車や保護地への車の乗り入れはご遠慮ください。

※時期、気象などの条件により、ホタル鑑賞ができない場合があります。



マナーを守って、
ホタル鑑賞を
楽しみましょう！



見られたらラッキー！
近隣のホタル鑑賞スポット



ホタルの生態

世界では約2000種、日本では46種が確認されているそうです。よく知られるゲンジボタルは川などの流れがあるところ、ヘイケボタルは田んぼなどの流れがないところに生息し、なんと卵の時から光っているというから驚きです。幼虫時代は水の中で過ごし、ゲンジボタルはカワニナという巻貝のみを、ヘイケボタルはタニシなどを食べて成長します。サナギになる時に上陸し、土の中にまゆを作り成虫になりますが、成虫になってから生きられるのは、わずか1週間から10日ほどという儚さ。光はゲンジボタルのほうがヘイケボタルより大きく、白河周辺域で飛ぶのを確認できるのは、ゲンジボタルが6月上旬から下旬、ヘイケボタルは7月上旬から下旬頃だそう。寒い日や雨風の強い日は飛ばないので、残念ながら天気によっては見られない日も。ホタルの鑑賞にはお天気をしながらお出かけしてくださいね。

